

法人理念	人との出会いを大切に・・		
支援方針	1, どんな時も子どもファースト・好きな事を見つけよう! 2, できる?できない?ではなく、とにかく1度はやってみよう!!		
営業時間	9:00～17:30	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容			
本 人 支 援	児童発達支援 入学準備がんばるプログラム 1, 幼稚園や保育園で集団生活を過ごしているので、個別支援が中心 2, 苦手な部分を把握しお子様自身の日々変わる変化や今後の進路に向けて保護者の方と話し合い、作成した個別支援計画は状況により常に修正を加えていきます。 3, 就学へ向けたお子様にはひらがなの読み方、数の数え方などの基礎勉強にも取り組みます。		放課後等デイサービス 習い事・学習支援プログラム 1, 学ぶ楽しさを伝える 2, 「集団の中での学習」を支える「学習態度」を育てる 3, 学ぶ意欲を高める 4, 学校からの宿題を支援する
	「療育支援」「学習支援」を起点とし、そこから広がる多面的な支援を通じて、安心安全な居場所を作り、適切な自尊感情を育みながら、興味・関心を広げ、関わる力・表現する力など、学びの土台を築いていくことを目指します。		
	14:00～14:30保護者お送り 各自園終了後来所 健康確認・身辺整理・ 14:30～16:30の間に習い事開始 ★順次個別あるいは小集団で選択した曜日の「習い事」を受けます。 ★個別支援・学習支援・宿題支援を個人のカリキュラムにより受けていきます。 ★おやつ 17:30 おかえりの準備 お片付け・身支度・時間排泄・絵本等読み聞かせ 17:00 （保護者おむかえ）		14:00位～14:30保護者お送り 各自学校終了後来所 健康確認・身辺整理 14:30～16:30の間に習い事開始 ★順次個別あるいは小集団で選択した曜日の「習い事」を受けます。 ★個別支援・学習支援・宿題支援を個人のカリキュラムにより受けていきます。 ★ おやつ 17:30 おかえりの準備 お片付け・身支度・時間排泄・絵本等読み聞かせ 17:00 （保護者おむかえ）

	児童発達支援	「習い事」 支援
本 人 支 援	個 別・小集団プログラム 園に行くための準備をゆっくりと進めていくプログラムです。 10:00～保護者お送り 健康確認・身辺整理・自由遊び・時間排泄 10:20～あさのかい ごあいさつ・季節のうた・絵本・音楽体操・日付の確認・名前・人数の確認 10:40～小集団遊び・個別指導 ルールのある遊びや、好きなおもちゃ・好きな空間で遊んでいる中で、物の貸し借りや順番などルールを守ることの大切さを学びます。 個別指導 年齢や個人差により変わりますが1課題10分から15分、それぞれが1つの課題にマンツーマン指導で取り組みます。 12:00～お弁当・時間排泄 お弁当のご用意・ごあいさつ 13:00 おかえりの準備 お片付け・身支度・時間排泄・絵本等読み聞かせ 13:30 (保護者おむかえ)	Amie plus では様々な体験を重視した「習い事」も併せて選択していただきます。様々な習い事を通して、まず大切なのはコミュニケーションと一緒に学んでいくことです。 初めての事、不安な事にも“挑戦”しやすい環境づくりをし、なんでもチャレンジする気持ち、活動の選択肢を増やすことにより、「好きな事」「嫌いな事」「得意な事」「苦手な事」を自分自身で決めていくことができます。 楽しく学べる環境を整えていくことで、子どもたちも自信をつけながら、自ら学びたいという意欲を高められる点も魅力のひとつです。 保育士資格を保有する講師もおりますので、安心して受講していただくことができます。 3歳児より受講可能・「習い事」への参加は自由です。参加希望しないお子様は、個別指導(療育指導)が中心のカリキュラムになります。

月	英語教室
火	体操教室
水	音楽・ピアノ教室
木	造形絵画教室
金	英語教室
土	ダンス キックボクシング

5 領域	本人支援内容
健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身に着ける方法。食を営む力の育成と楽しい食事への配慮(感覚等)支援(咀嚼、嚥下、姿勢保持等)します。遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、環境配慮を工夫します。プレスケール型により毎日規則正しい生活環境の中で何度も繰り返し行うことで、習得していきます。
運動・感覚	様々な運動遊具を用い、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の感覚は、力加減や、体の動きをコントロールするだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも役立ちます。音楽療法士の先生と一緒に、様々な楽器に触れ音楽遊びを楽しむ。
認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に学習できるかを模索し、支援します。また、“着席”“大人をよく見る”“少し嫌なことへも頑張ってみる”等課題に向く姿勢、力をつくよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と感じるように関わり方や内容を工夫します。
言語 コミュニケーション	“要求”“報告”“聴く”“模倣”“観察する”など、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジャスチャーやカードなど、子どもに合った方法を考え支援します。
人間関係・社会性	ST(ソーシャルスキル)と言われる支援です。“順番交代”役割“ルールを守る”指示に沿った行動をする”など、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。また、“感情に気付く”“感情に名前を付ける”“対処法を考える”など、気持ちのコントロールを練習します。また、ストレスが強い状態の時には、子どものペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法を考えます。

家族支援	家族からの相談や悩みに対しての助言や寄り添う事により、少しでも気持ちがリフレッシュ出来るように話し合いの場を持つ。お子様の様子を客観的に観察できる時間を提供し(参観日など)、新たな気付きの場として活用できるようにする。困り感や気づきをいつでも話せる環境を確保し、延長支援を活用しレスパイトケアを行う。
移行支援	学校、幼稚園・保育園関係機関との連携 幼稚園・保育園・学校に行くための準備
地域支援・地域連携	関係機関との連携を行う。学校園からの相談や共有があれば療育的視点での提案や助言を行う。
職員の質の向上	一人一人の児童に対する担当者会議の実施。また、支援の中での気づきや変化は職員間で共有する。共有発達特性と支援の手立てについて研修等で学び専門性を高める。